

「第4回 NPOST ワンヘルス研修バスツアー」が催行されました !!

令和5年9月18日（月・祝）、福岡県看護協会、福岡県理学療法士会、福岡県作業療法協会及び福岡県言語聴覚士会の会員を含む22名の皆さんが参加されました。

今回のバスツアーの目的は、

- ・ 福岡県のワンヘルスの取組みの現状と課題を学ぶこと
- ・ ワンヘルスの6つの柱のうち、特に「人と動物の共生社会づくり」、「健康づくり」を実感すること
- ・ 他の医療関係団体や専門家との連携を強化すること となっています。

午前9時に博多駅を出発し、主催者である平山裕章・福岡県ワンヘルス総合推進室長からの挨拶があり、今回の目的地である「認定 NPO 法人 日本レスキュー協会佐賀支部」へ向かいました。

【ツアー概要】



車内では、平山室長から「ワンヘルスの最近の取り組み」、今村和彦福岡県獣医師会副会長から「医療関係者におけるワンヘルス」についての研修が行われました。



岡武事務局長

【認定 NPO 法人 日本レスキュー協会 佐賀県支部】

日本レスキュー協会佐賀県支部では、岡武事務局長から「日本レスキュー協会活動紹介」が行われました。以下、紹介の一部です。

最近の活動としては、7月9日（日）、福岡県、大分県、佐賀県にかかる線状降水帯

により各地で大雨となりました。この大雨を受け10日（月）、佐賀県唐津市で2名を巻き込む土砂災害が発生し、日本レスキュー協会は災害救助犬2頭「太陽」「陸」、隊員3名を現地に派遣しました。

現地では、唐津消防の指揮下に入り、4日間活動しました。発災3日目以降は、行方不明者の家屋周辺だけでなく、土石流に巻き込まれた川に流された可能性を視野に、搜索範囲を拡大し河川敷沿いも搜索しました。体力も限界に近づいていた時、海沿いで発見されたとの連絡があり、活動を終了しました。



赤木亜規子スタッフ

ドッグセラピースタッフの赤木亜規子さんからは、「ワンヘルスと日本レスキュー協会の関わりやセラピー犬」についての説明がありました。以下、説明の一部です。

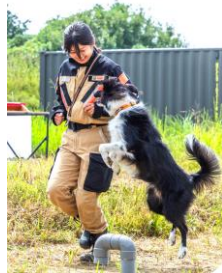
セラピー犬は、その魅力的な外見や優れた性格を通じて、人々の心を癒し、気持ちを安定させる効果があります。災害現場では、セラピー犬は被災者や救助スタッフとの交流を通じて、ストレスの解消やコミュニケーションの促進を図ります。

セラピー犬は、身体的な安心感や癒しをもたらすだけでなく、被災者や救援スタッフとの間に心理的なつながりを生み出すこともあります。

日本レスキュー協会のセラピー犬は、訓練された信頼性のある犬たちで構成されており、災害現場での心のケアに貢献しています。

【災害救助犬デモンストレーション】

災害救助犬トレーナーの高橋玲衣さんと三枝和佳さんが、災害救助犬「みっちゃん」「たの」によるデモンストレーションを行っていただきました。





【セラピー犬、障がい施設等訪問事業紹介】

「NPO ことり」の今村亜子理事長から、セラピー犬、障がい施設等訪問事業紹介が行われました。



今村亜子理事長

セラピー犬による「障がい施設等訪問事業」は、セラピー犬を活用して障がいを持つ人々や施設利用者の心のケアや癒しを提供する活動のことです。

セラピー犬は、その人なりの可愛らしさや優れた性格を生かし、人々の心を癒し、気持ちをリラックスさせる効果があります。

セラピー犬は、直接触れ合うことや撫でることができると、心地よさや安心感を提供し、癒しの効果をもたらします。

※「NPOSTとは」

N : Nurse (看護師)

PT : Physical Therapist (理学療法士)

OT : Occupational Therapist (作業療法士)

ST : Speech-Language-Hearing- Therapist (言語聴覚士)

2023年9月20日

福岡ワンヘルス協議会・事務局